

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和5年2月20日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4692600028
法人名	社会福祉法人滴々会
事業所名	グループホーム音野舎 II
所在地	鹿児島県南九州市知覧町郡2069-2 (電話) 0993-58-7181
自己評価作成日	令和5年2月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和5年3月13日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

住み慣れた場所の馴染の顔ぶれに囲まれて、安心して生活していただけるような関係づくりに努めています。訴えや要望があった時は傾聴し、なるべく意向に沿った対応が出来るように努めています。レク活動では回想法や室内レクが主ですが、気候や人員の状況によっては近くの公園まで弁当を持ち遠足へ出掛けたり、ドライブや散策に出掛けています。食事面は法人の管理栄養士が考案した献立を調理担当が作り、旬の食材やバランスの取れた食事がとれていると思います。健康面では朝夕のバイタル測定や状態観察を行い、状態変化時は看護師や主治医へ相談し受診が出来る体制をとっています。地域との関りは運営推進会議での情報交換や避難訓練では消防署や地域の方々の協力があり、関係づくりが出来ていると思います。面会は窓越しや屋外で短時間の面会でご不便をかけていますが、3カ月に1度請求書発送時に近況報告の文書を同封しており、電話があった際にも本人へ繋いだり近況報告をしたりとご家族からも安心して頂けるように努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	・毎朝朝礼で復唱し実践に繋がっている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	・コロナ過で外部との交流が難しいが、市の文化祭に作品を出展し施設の広報も行った。兄弟や知人に会え喜んでいた利用者もいた。 ・屋外でミカン狩りや焼きいも・餅つきを開催し他の事業所と短時間ではあったが交流が出来た。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	・コロナ過で地域との関わりは難しい面があるが、運営推進会議を通して役員の方や家族代表の方には現状を説明しご理解を頂いていると思う。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・コロナ過で対面での開催は少なく書面開催が多かった。地域の方からの貴重なご意見や情報などを頂き支援に繋げる事が出来た。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	・報告書や分からない点は市の担当者へ連絡し指導を仰いでいる。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	・身体拘束はしていないが、時に帰宅願望が強く出て行こうとされる方がおり、状況によっては玄関を施錠することがある。 ・身体拘束をしない為の話し合いを実施している。 ・研修を行い、実践している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・研修で学び意識付けや防止に心がけている。 ・事業所会議を通して虐待についての指導や注意すべきことに対して話し合いをしている。 ・虐待をしないように心掛けている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	・制度について理解や活用というところまでの認識は受けている。 ・法人の研修に参加し、参加できなかった人は伝達研修を受けている。今年はコロナの為、延期となった。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>・入居時に「重要事項説明書」等の説明を行い納得の上で署名・捺印を頂いているが、入院し待機期間が1カ月と説明すると覚えていない方が多く、もし退去に繋がっても次のサービスに繋がるまで支援していくことを伝えると安心されている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>・管理者が法人の「運営会議」に出席し実績その他、経営者の思いを事業所会議にて周知している。家族の意見は年に1回「満足度調査」を行い頂いたご意見をサービスの向上へ繋げられるように取り組んでいる。満足度調査の結果は回覧できるようにしている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員</p>	<p>・事業所会議で意見を出し合い、文書にして上司へ回覧している。その他地域サービス部会議でも話し合いをしている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>・給与面や就業時間など改善されていると思う。</p> <p>・家族状況のことなど理解して頂き勤務が組まれている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員育成に関しては常に職員が足りない。夜勤が出来る職員が固定されていると言う状況が続いている。 ・事業所会議で勉強会がある事もある。 ・GH連絡協議会の支部研修(zoom)に参加を促し半数が全員参加出来た。 ・法定研修はコロナ過で延期になったりしたが、時間を見つけて開催出来た。 		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ過で集まりはないが終息し交流の場が持てるなら情報交換などしてみたい。 ・管理者は連絡協議会の役員をしていた為、他のGHとの情報交換をする機会があり、他の職員に伝えた。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前のアセスメントを職員全体で共有することで、少しでも安心して生活して頂ける関係作りは行えている。 ・傾聴し会話の中から要望や不安を探っていく。 ・家族や前担当者から聞き取りをする事で引き続き安心して頂ける対応を継続していく。 		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ過で見学が出来ないため写真やパンフレットを基に生活環境を見ていただいている。ご家族の話にも親身になって傾聴し安心して預けていただけるように心掛けている。 ・担当者会議を開催する前にご家族の要望や心配を聞き入れ、職員間で共有し支援に繋げられるようにしている。 		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に管理者と本人家族と十分な話し合いをして対応方法をサービス前に支援について見極めを行なっている。 ・必要に応じたサービスを行えている。 ・本人又は家族の要望を聞き介護サービス計画書を作成し実践している。 ・必要と思われるサービスを提案している。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の今までの経歴・生活歴等ある程度理解して、「自分らしく」あって頂きたいと思うがなかなか実践できていない所もある。 ・利用者様で各自【出来る事】を手伝って貰っている。 ・作業を見守りながら一緒に実施している。 		
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ過で外出などが出来ない為、窓越し面会時に近況や状態報告をしている。 ・利用者の状態報告をし家族の意見を理解し関係を築いている。 ・家族へ状態・近況報告を文書にし健康状態や生活の様子などを把握して頂けるように努めている。 ・面会時に短時間ではあるが会話を楽しんで頂けるように努めている。 ・近況や生活の様子を電話連絡があった時や来園時に報告し関係づくりに努めている。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、外出・外泊が難しい状況ではあるが「窓越し面会」等を通して関係性や交流を保てるようにしている。 ・地域へのドライブや家を見に行ったり等を行っている。 ・入居の際に散髪は馴染の所を勧めているが、家族の対応は難しく訪問理美容を利用している。 		
21		<p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様同士の相性や関係性を理解し席替え等をしている。 ・一緒に外出したりレク活動に参加したり利用者様同士良い関係が築けていると思う。 ・席の工夫をしたりレク活動を通して楽しく共同生活が送れるように努めている。 		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・退去後でも何かあった際には相談や可能な限りの支援に努めている。 ・ご家族に会った際にはその後の近況を聞いたりしている。法人内の施設に入所した際には現ヶアネに近況を聞いたり、本人と会話をしたりしている。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	<ul style="list-style-type: none"> ・日々のケアを通して汲み取ることが出来ればと思っているが実践は出来ていない。 ・職員間で話し合いをし利用者様に合った適切なケアに取り組んでいる。 ・利用者や家族に聞きながら対応している。 ・連絡帳を活用し共有している。 ・コミュニケーション時にヒントになる部分があるが利用者様に満足して頂けているかは分からない。 		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の状態を観察し記録しておき家族に経過を報告している。 ・家族から生活についての話を聞いたり話し合いの場で取り組んでいる。 ・入居時に家族より聞き取りを行っている。 ・一人一人のこれまでの生活歴等入居前子は把握していても月日が経つと忘れてしまい振り返りが出来ない事が多い。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・月に一度の事業所会議で利用者の現状について話し合いをしている。 ・利用者様の変化時には職員間で話し合いをし共有に努め、ご家族にも定期的に文書で報告している。 ・介護日誌や職員間でのコミュニケーションの中で情報を共有し現状の把握に努めている。 		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所会議にて話し合っている。 ・理学療法士や看護師へも変化時は相談をし助言を頂いている。 ・事業所会議で現状に即した介護計画を話し合い情報共有し実践している。 		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の生活記録や個人の運動や作業を記録している。 ・個々の生活記録を記入しレクや活動内容を記録している。 ・支援経過記録はその日に気付いた事を職員間で共有し支援に活かしている ・介護日誌・個別経過記録を行い実践や介護計画に活かしている。 ・職員間で情報共有は行えている。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員それぞれの意見や本人のニーズを吸い上げケアやプランに活かされている。 ・本人や家族の意向を確認しその時のニーズに応えるように努めている。 ・生活に足りないものを代わりに買い物に行ったりしている。 ・外出希望の利用者に対してはゴミ出しの時に一緒にゴミ出しに出掛けたりしている。 		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の生活で「どうすれば楽しんで頂けるか？」意見を出し合っている。 ・感染症対応の為、行えていない。 ・外出は中々出来ないので園内・室内でのレクを楽しんで頂けるように工夫をしている。 		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本人・ご家族の希望に添えている。 ・受診前にはバイタル表や経過の報告を行いかかりつけ医と連携を取っている。 ・受診時や往診時に主治医に状態報告をしている。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・月に2回同法人の看護師による健康チェックを受け変化時には相談できる体制が取れている。 ・月に2回看護師による健康チェックを受けている。異常があった時は迅速に連絡や対応が出来ている。 ・何か起こった時、起こり得る時に常に相談出来る看護師がおり対応出来ている。 		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関と連絡を取り合い利用者・家族によってより良い対応が出来ている。 ・必要な情報提供を行っている。 ・管理者が病院を訪問し状態を確認している。面会が出来ない時は電話確認にて対応している。 ・医療機関を活かし安心して治療出来るように努めている。 ・必要な情報提供を行っている。 ・入院時に待機期間を伝え、期間が迫って来たら、状況を聞いたり本人に面談に行っている。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・終末期の必要性は感じているが実践するまでには至っていない。 ・入居時に家族の意向を確認している。 ・グループホームで出来る療養を入居の段階で説明をしている。もしもの時は早期に病院へ搬送するように話をしている。 		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者もしくは看護師へ連絡し指示を仰いでいる。状況によっては主治医・家族にも連絡し受診をしている。受診は決まった職員だけが行くのではなく、早出職員かフリーの職員が行くようにし全員が対応できるようにしている。 ・緊急時のマニュアルを作成しており、いつでも閲覧できるようにしてある。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>・年2回(昼間想定・夜間想定)消防署来園の下、訓練を受けている。年1回委員会を中心に防災招集訓練を行っている。コロナ過で地域住民の来園は無いが、もしもの時は協力体制が出来ている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧な言葉使いが出来るように努めている。 ・言葉掛けに気を付けているが職員間で話をする際はやや配慮に欠けている点がある。 ・利用者の性格等、気を付けながら声掛けをしている。 ・難聴の利用者様に関してはどうしても耳元で大声で話してしまう。排泄面などに関してはもう少し配慮した方(筆談・ジェスチャー等)が良いかと思う。 		
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員へ話しかけやすい環境や雰囲気作りに努めている。 ・アンケートや口頭での聞き取りを行えている。 ・利用者の希望や自己決定がしやすい声掛けをしている。 		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動や行事等の参加は本人の意思を尊重しながら実施している。 ・入浴やレク活動等強制ではなく本人の状態や希望を聞いて実施している。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・散髪や衣類の決定は本人に聞いて対応している。 ・こだわりや好み等を考慮し季節に応じた服装の声掛けを実施している。 ・散髪時は本人の希望に合わせて対応してもらっている。 		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に適した食事形態を提供している。片付けや食器洗いなど可能な利用者に手伝いをしてもらっている。 ・アレルギーがある方には他の食材を使い調理している。 ・個々に合わせた食事形態や季節や行事にあった食事を提供している。 ・法人の管理栄養士が考案したメニューを職員が交代で調理している。メニューによって切込みが必要であれば食べやすいように切込みを入れたり、状態に応じてミキサー食にしたりしている。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・摂取量・水分量は記録に残している。一人ひとりが食べやすい大きさにカットしたり工夫して支援をしている。 ・その人に適した量や食材の切り方などに気を付け、美味しく食事を楽しんで頂けるようにしている。 ・摂取量を記録に残し体調等に気を付けている。 ・日々のケアに記録に記入し対応している。 		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自身で実施される方に関しては細部まで確認が取れていない。 ・粘膜ブラシを用い舌まで磨く利用者もおり介助をする方に関しては観察・確認が出来ている。 ・毎食後口腔ケアを促している。支援が必要な利用者は介助をしている。 ・義歯利用者は週3回ポリデント消毒をして清潔に保っている。歯ブラシやコップも定期的に洗浄・消毒をして清潔を保っている。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄チェック表を参考にしながらパターン・習慣を把握し随時声掛けをしている。 ・排泄の声掛けをしたり汚染時は交換をしている。排泄の際は声掛けをして自身で衣類の上げ下げをして頂くか協力動作をしてもらっている。 		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・水分摂取を促し食事前にも体操をしている。それでも排便が無かった時は処方された下剤や整腸剤で調整をしている。 ・水分をとりたがらない利用者に関しては好みの飲み物を提供し水分摂取を促している。なるべく自然排便を促すように心掛けている。 ・排便チェック表を活用し状態確認をしている。 		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴を希望される方は入って頂いているが、介護度も上がり湯船に浸かる事が困難な方もいる。掛湯で満足して頂いているかは不明である。 ・本人の意見を尊重し拒否がある際は時間をおいて対応したり日を改めて対応している。 ・早出職員が担当している。受診と重なった時は入浴が出来ないことがある。夜に入浴を希望されると対応が難しく夕方から夜の入浴はしていない。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日中は体操やレクリエーションを行い活動を促し適度の疲労感を感じて頂きながら夜間の安眠に繋がるように支援している。昼寝の時間は設けてあり短時間でも横になって頂いている。 ・無理のないようにそれぞれの状態に応じながら休息をとって頂いている。 		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・処方箋を確認し利用者ごとに管理をしている。誤薬が無いように準備～服薬介助の時まで職員同士でダブルチェック・名前復唱の確認を行っている。 ・服薬後は飲み忘れが無いように空袋をとっておき、全員が飲み終わったら再度確認をしてから薬袋を破棄している。 		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の状態に応じてレクリエーションを実施している。季節ごとにドライブや行事も取り入れている。 ・利用者に応じて出来る事や日常生活の事をしてもらい、ドライブ等で気分転換を図ってもらっている。 ・法人の恒例行事がコロナで出来ない為、小規模でも楽しんで頂けるように工夫している。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・季節を感じて頂けるようにドライブや外出をしている。 ・世間の状況に応じて近隣ではあるが散策に出掛けたりしている。感染症予防の為、家族との外出は受診時のみだが、短時間でも楽しんで頂いている。 		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己管理が出来る方に関しては高額ではないが所持している。自己管理が出来ない方に関しては管理者が「預かり金」として管理し受診時や外出時等の必要時に渡している。 		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電話を掛けたいと訴えがあった時は可能な限り対応している。家族へ連絡する際は都合が合えば電話を替わる事もある。 ・届物があった時は本人からお礼が言える環境を作っている。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 掲示物は季節感のあるものを飾っている。気温に応じて温度や湿度調整をしている。 ・ 季節の花を飾ったり壁画づくりを一緒に作成し飾る等、工夫をしている。 ・ 毎朝トイレ・フロアと掃除をしている。汚染があった際にはその都度掃除をし清潔を保っている。感染症予防の為、席の配置が対面ではなく、パーティションがある事で不満の声もあった。 		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ テレビ前にソファを配置し誰でも気軽に寛いで頂けるようにしているが、普段の自席が落ち着くようで促してもなかなか座る事が無いようである。隣のユニットの方が座ってコーヒーを飲まれている。 		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全に過ごせるように家具やベッドの配置等工夫している。 ・ 利用者の動線や整理整頓のしやすさを優先しているところがあり配慮が出来ていない。 ・ 自宅で使い慣れた家具を持参して頂くよう家族に伝えているが、最小限の持ち込みの方もおり居心地の良い空間かは分からない。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出来る事はしてもらっている。茶碗洗いや洗濯物畳みも促しているが全員が出来るわけではなく、出来る人にしてもらっている。職員や出来ない方から「ありがとう」と声を掛けられ嬉しそうである。 ・転倒やケガなどのリスクを減らせるように工夫している。 		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない